

タンク筋を知っていますか

神戸新聞 2019年10月3日付けの「スクープラボ」の欄から・・・

「JR新長田駅（神戸市長田区）西側の南北道路の名称は『若松線』『タンク筋』どちらが正しいの?」。神戸新聞の双方向型報道「スクープラボ」に、こんな疑問が寄せられた。調べてみると、同じ路線でも、法律に基づいた名称のほかに、地元で根付いたニックネーム（愛称）が多数存在することが分かった。背景には歴史や住民の思い出などが深く反映されていた。（中略）

「タンク筋」の由来は明治期、当時の神戸瓦斯醸造所が設置していた円柱状のガスタンクのことを指すという。数十年前に撤去されるまで、巨大なタンク群は地域住民のシンボリック的存在として親しまれた。地元で呉服屋を営む男性（60）は「三宮に次ぐ副都心としてにぎわったときは、タクシーで『タンク筋まで』と言うだけで話は通った」と振り返る。

同市内にはほかにも、フラワーロード（同市中央区）は県道新神戸停車場線▽有馬街道（同市兵庫区）は県道神戸三田線、国道428号▽水道筋（同市灘区）は坂口石屋川線－などがあり、道路愛称の方が認知度の高い場所も多い。（以下略）^{*1}

タンク筋を地図と写真で確かめる

1 地図で確かめる

ネット上に公開されている「今昔マップ」では発行年の異なった地形図を見ることができる

時代ごとの地形図を読み取ると、

1923（大正12）年測図	円形構造物 2基	
1932（昭和 7）年測図	〃	「瓦斯会社」の注記あり
1942（昭和22）年三修	〃	
1970（昭和45）年修正	3基	「大阪ガス工場」の注記あり
1975（昭和50）年二改	4基	〃
1985（昭和60）年修正	タンク筋正面なし 3基	〃
1995（平成 7）年修正	タンク 1基	〃

今昔マップを読み取れば、1923年までにタンクは設置され、1975年から85年の間にタンクは撤去されたことが分かる。

*1 未読であるが、国立国会図書館が運営している「レファレンス共同データベース」の中で神戸瓦斯についての参考資料が掲載されているページがある
https://crd.ndl.go.jp/reference/entry/index.php?id=1000211060&page=ref_view

2 写真で確かめる

神戸アーカイブ写真館^{*1}でタンクの写っている写真を探索。道路の正面にタンクの写っている写真を見つけることはできなかったが、昔、タンクがあったことを示す写真を見つけ出した。



32689

長田若松3、4丁目から南を
撮影年不詳
神戸アーカイブ
写真館所蔵



120925

長田港上空
1967年頃
神戸アーカイブ
写真館所蔵

^{*1}「神戸アーカイブ写真館」は2012年、ふたば学舎に開設。15万点以上の写真を、時代別・テーマ別などにわかりやすく整理・分類し、ディスプレイ・パネル・冊子などで公開してきた。2024年12月に閉館。神戸アーカイブ写真館に収蔵している写真は、2026年中に開設予定の「神戸市歴史公文書館」に引き継がれる予定。